

会議名：株式会社広域高速ネット二九六

2024年度 佐倉市・四街道市 放送番組審議会

日時： 2025年2月6日（木）11:00-13:30

場所： 広域高速ネット二九六 通信技術センター会議室

■出席委員

岩淵 明弘 委員	佐倉商工会議所 会頭
圓城寺 一雄 委員	佐倉市教育委員会 教育長
小川 勝寛 委員	佐倉市観光協会 会長
小澤 芳雄 委員	千葉県視覚障害者福祉協会 理事
菊地 龍太 委員	佐倉市PTA連絡協議会 会長
毛見 文枝 委員	NPO 法人ちば市民活動 市民事業サポートクラブ
府川 雅司 委員	四街道市教育委員会 教育長
米家 靖子 委員	四街道市国際交流協会 顧問

■株式会社広域高速ネット二九六 出席者

藤本 光弘	代表取締役社長
伊藤 完	常務取締役
藤本 健太郎	企画制作本部放送制作部 部長
萩谷 智弘	企画制作本部放送制作部 グループ長補佐

番組視聴

■今年度制作・放送した番組

1. 第 50 回 日本ケーブルテレビ大賞番組アワード コミュニティ部門奨励賞 受賞
「新 5,000 円札の顔「津田梅子」～梅子が切り開いた女性活躍～」(44 分番組)
2023 年制作
2. 第 50 回 日本ケーブルテレビ大賞番組アワード 新人部門奨励賞 受賞
「365 日、里親と動物を繋ぐカフェ～保護動物 Café ねこのす～」(30 分番組)

番組審議

■<岩渕 明弘 委員>

良い番組は何回でも再放送していただきたい。各ケーブルテレビ局に番組を提供するなど、296 で制作した番組を全国に提供し、違う地域で放送するのも良いと思う。このような良質の番組があるということを広く宣伝してほしい。

現在は見たい時に見ることができる、例えば YouTube などのようなメディアをテレビで視聴できる時代。過去の番組を視聴できるメニューがあれば、津田梅子をやってるから見てみよう、となるのではないか。中々放送時間とスケジュールが合わない方や、仕事をしている方向けにも、そのような視聴方法があれば良いと思う。

■<圓城寺 一雄 委員>

特番「津田梅子」は、音と映像の力が非常に素晴らしく、教材として活用したいと感じた。新札に津田梅子の肖像画が採用されるということで、夢咲くら館においてパネル展を実施した。津田塾大学さんにもご協力いただき、様々な資料を展示したが、パネル展示と比較して、今日の映像の方がより多くの情報を含んでおり、ジェンダーの問題やキャリア教育の重要性など、非常に多くの示唆を与える内容だった。

■<小川 勝寛 委員>

津田梅子のような地域の偉人を取り上げ、発信していただくのは大変ありがたい。津田梅子はなんといっても佐倉。佐倉市民の方々に発信していくチャンスではないかと改めて感じた。津田梅子の番組が放送されていることを知らなかったので、PR にもっと力を入れて欲しい。再放送や配信など視聴機会を増やしてみるのはいかがでしょうか。

■<小澤 芳雄 委員>

津田梅子が 6 歳で渡米したことは知らなかった。そのような頑張りや苦労があつて学校ができたということがわかった。ぜひ番組を再放送してほしい。

特番「ねこのす」は、すごく重要なことをやっていると感じる。私も今、犬と一緒に住んでおり、体重 40 キロのラブラドルレトリバーでもう 13 歳になるが、家に帰ると犬から元気をもらえる。

今まで 296 制作の色々な番組を見ているが、1 番いいと思っているのが「麺娘」。実は放送されるたびに食べに行っている。直近で行った大網白里駅の「ラーメンみたけ」も美味しかった。担々麺が好きなので勝浦まで食べに行っていたが、近隣の富里に勝浦担々麺の支店があることも番組を見て知った。チェーン店ではなく地元で経営しているお店を取り上げているところがいい。「デリバリースタジオ☆296」で紹介されてハマったお店も沢

山ある。今後は地元の老舗のお店を取り上げて欲しい。

■<菊地 龍太 委員>

特番「ねこのす」を見て、ペットの増え方などの考えが変わってくるのではないかと思う。私も動物を飼っているが、ペットを飼うにあたっては最期までしっかり付き合っていく気持ちが大切だと思う。

PTAの代表として要望だが、教職員の人材不足が深刻。今教育現場は大変な状況になっている。そのような状況の中でPTA研修を市原で行い、PTAが必要かという議題があがった。296でぜひそのことを取り上げて欲しい。

■<毛見 文枝 委員>

地域課題の発掘・発信・課題解決をこれからも期待している。

特番「津田梅子」は、新札になるタイミングで、地元佐倉の出身であることから、取材したのはいい機会だったと思う。津田梅子の生涯について、6歳で渡米し、その後本当に苦労しながら津田塾を開校したことまではよく知っていたが、それ以外に今現在のジェンダー問題や、女性の社会進出という所まで取材し、現在の課題まで織り込まれていたのがとてもよかった。

特番「ねこのす」は、テレビで猫カフェの放送はよくしているが、保護猫を対象にした猫カフェを取材したのはとても良かった。猫好きでないと猫の番組を見る機会はないので、猫を飼うための心構えや覚悟など、そういう話があったのも知らない人にわかってもらえてよかったと思う。やはり動物も人も同じ心を持っている。猫だけでなく動物は人間をとて癒してくれるものだと思うので、良い番組で大変嬉しく思った。

房総半島の台風の時にNHK以外が映らない事が多かったので、災害報道には是非ケーブルテレビ局として力を入れて欲しい。テレビ以外でも見れるようにして欲しい。

■<府川 雅司 委員>

私自身、過去に県教育委員会に三年間所属し、教育番組の企画などを作っていたので、県域放送でネタを探すのが大変だったことを思い出した。番組をどう作るか、題材を何にするか、中々企画書が書けなかった苦労を思い出した。2番組とも、非常に良いネタで、題材が良かった。構成も非常によく練られていて、よくできていた。特に特番「津田梅子」は、ナビゲーターが有名な草野満代さん。ナレーションも非常に聞きやすい。どんな人物と関わってきたかという構成も非常によくできていて、カメラワークも良く、スーパーやテロップの出し方も上手かった。当時の卒業生の式辞の所も日本語と英語を表示していて視聴者にとっては非常にいい番組だった。

命の教育ということで特番「ねこのす」は動物愛護にも非常にマッチしていたと思う。

■<米家 靖子 委員>

特番「津田梅子」は、リアルタイムで見させていただき、すごい番組だと感じた。このような番組はぜひ地域の子供達に見て欲しいと思う。小さい時にどこで過ごしたのか、見たり聞いたりした記憶は子どもにとてとても重要で、人格を形成する上でとても大切な事。このような方達が私たちの時代にいたという、そのアイデンティティが育まれるのではないかと思う。

特番「津田梅子」はインタビュー番組のような感じだが、視聴者が「ああ、なるほど」と思うような、本質・本音を引き出すことや、視聴者も自分の本質に気がつくインタビューはとても必要だと感じた。この番組を見て、100年以上経ってもやはり、まだまだ女性の活躍は限られているのかなと思う。それでも少しずつ前に進もうとしている日本の社会があり、女性だけでなく男性も、周りが認めたいという環境があり、地元に住んでいる女

性たちがトップで頑張っている姿が見れるのはとても素晴らしいことだと思う。

特番「ねこのす」は、番組の説明に「地域の今が見える。地域の今をありのままに切り取り、記憶する」と書いてあり、なるほどと納得した部分がある。以前ふるさとチャンネルを見た時に、「どうしてテロップやナレーションがないのか」と申し上げたが、最近ふるさとチャンネルを見た時に、これはこれでいいんだとの思いに至った。香取のひげなで祭を見た時に、テロップやナレーションがあるとそちらに意識がとられてしまい、お祭りの様子が入ってこなくなると感じた。296 が作った番組ということではなく、ふるさとチャンネルでは地域の活動している人たちが、活動している場面をありのままに見せることで何かが伝わる番組なんだなと感じた。

以上